

地域と学校の交流紹介

わたしたちのふるさと手稲では、地域の方が共に支えあいながら、自主的・主体的にまちづくりを進めています。このような地域のまちづくり活動のひとつとして、「地域と学校の交流」も、しっかりと根付いてきています。今月号は、そのような地域と学校の交流をご紹介します。

とほほ...

今回取り上げた札幌稲西高等学校、札幌稲雲高等学校、北海道工業大学の取り組み紹介の文章は、それぞれ実際に活動している生徒さんや学生さんに作成していただきました。誌面から「若々しい力と真剣な意気込み」を感じていただけたと思います。

札幌稲西高等学校

札幌稲西高校は、昭和58年に、手稲区の北西部手稲山口地区に設立されました。校舎から見える雄大な手稲山は四季折々にその姿を変え、わたしたちの気持ちを和ませてくれます。

ボランテニア部は15年以上の歴史を持ち、いろいろな活動を通して地域との交流を深めています。特に毎年行われる「昼食交流会」と北海道星置養護学校の五光寮定期訪問は、長く続いている大切な活動です。昼食交流会は、毎年秋頃に、学校近隣の高齢者の皆さんに招待状を送り、来校していただいで一緒に昼食を

作ったり、レクリエーションなどで交流を深めたりする行事です。平成18年度は14回目の開催となり、17人の方に参加していただきました。昼食会でのメニューはイカご飯や寄せ鍋などでした。毎年メニュー作りに苦労しますが、今回は星置まちづくりセンター所長の富田さんからアドバイスをいただきました。富田さんや高齢者の皆さんのご指導もあり、皆さんとおいしくいただきました。



▲味も格別です

レクリエーションでは、キーホルダー製作とクイズ大会を行いました。また、参加募集に応じてくれた吹奏楽部の演奏や、茶道部によるお点前などで、喜んでいただきました。最後に、6人の高齢者の方が舞踊を披露してください、心温まる会となりました。次回もさらによい昼食交流会にしたいと思います。



▲吹奏楽部による演奏

北海道星置養護学校の五光寮には、週に1度訪問していただけます。部員が3人と少なく、できることは限られますが、一緒に絵を描いたり、本を読んだりして、時間はあっという間に過ぎてしまいます。毎年12月には、クリスマス会にも招待されています。平成18年度は、手作りの靴下人形（口の部分を動かせます）を寮生の皆さんにプレゼントし、それを使って一緒に歌ったり、踊ったりしました。



▲楽しいクリスマス会にしましょうね

準備は大変でしたが、皆さんが目キラキラさせて真剣に見てくれたことや、一緒に踊ってくれたことがうれしく、達成感を味わえました。毎年冬には、卒業生に贈呈する、バラなどのコサージュ（花飾り）を製作しています。卒業式では、卒業生が胸にコサージュをつけている姿に感激しました。来年も気持ちを込めて作ろうと思います。



▲美しいコサージュの花束

ほかにも、子どもたちと一緒に遊ぶ「手稲わいわいひろば」や「健康フェア」（共に手稲区役所主催）、肢体が不自由な方の海水浴への付き添い等、地域と密着した活動に力を入れています。

このように、ボランテニア部では地域との出会いや交流を通し、人とのつながりを感じ、何をすれば人のためになるかを考えるようになりました。これからも地域の皆さんに支えられていることを忘れず、自分自身の成長のためにも活動を続けたいと思います。